

障害者（児）実態・意向調査の概要について

1 目的

令和2年度に予定している障害者・児計画の策定に向け、計画の基礎資料となる障害者（児）の生活実態、サービス事業者の状況を調査するとともに、障害福祉施策への意向を把握するため、実態・意向調査を行う。

2 調査の種類、対象者等

本調査では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、障害児及びサービス事業者を対象とした量的調査（アンケート調査）及び区内施設を利用する知的障害者、精神障害者を対象とした質的調査（グループインタビュー調査）を実施する。

(1) 量的調査（アンケート調査）

① 調査種類

- ア 在宅の方
- イ 施設に入所している方
- ウ 障害児の方
- エ サービス事業者

② 調査対象者

ア 身体障害者

区内に居住又は区外施設等に入所している18歳以上の身体障害者手帳所持者
約1,890人（全体約4,600人）

（肢体・内部疾患については無作為抽出、その他の障害については悉皆）

<内訳>

視覚：約380人（悉皆）

聴覚：約290人（悉皆）

音声・言語：約70名（悉皆）

肢体：約600人（2,200人から無作為抽出）

内部：約550人（1,650人から無作為抽出）

イ 知的障害者

区内に居住又は区外施設等に入所している18歳以上の愛の手帳所持者
約650人（悉皆）

ウ 精神障害者

区内に居住している18歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者
約1,350人（悉皆）

エ 難病患者

区内に居住している18歳以上の難病患者（医療券所持者）
約1,950人（悉皆）

オ 障害児

18歳未満の障害児通所給付等受給者証所持者及び各手帳所持者
約950人（悉皆）

カ 区内事業者

区内にある障害福祉サービス、障害児通所支援サービスを行う事業者
約 70 施設

(2) 質的調査（グループインタビュー調査）

① 調査種類

施設訪問による聞き取り調査

② 調査対象者

区内施設を利用する 18 歳以上の愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者

3 調査項目

(1) 量的調査

対象者の属性（年齢、障害状況等）、居住環境、介護状況、外出環境、就労状況、防災、相談・情報提供等

(2) 質的調査

日中及び施設での過ごし方、今後希望する生活、余暇、相談、就労状況、防災等

4 調査方法

(1) 量的調査

原則、アンケート（郵送配付・郵送回収）方式。ただし、視覚障害者へは、希望により訪問又は電話での聞き取り調査を実施する。

(2) 質的調査

区内施設での訪問聞き取りを中心に行う。東洋大学との協働で実施予定。

5 調査時期

(1) 量的調査

令和元年 10 月 調査票配付・回収

(2) 質的調査

令和元年 7 月～9 月 グループインタビュー調査実施

6 今後のスケジュール

令和元年	5 月 13 日	<u>第 1 回障害者部会（実態調査の概要）</u>
	5 月 22 日	第 1 回地域福祉推進協議会本部
	5 月 31 日	第 1 回地域福祉推進協議会
	6 月	6 月議会（調査概要の報告）
	7 月	<u>第 2 回障害者部会（調査項目の報告等）</u>
		第 2 回地域福祉推進協議会
		【質的調査】グループインタビュー実施（～9 月）
	9 月	区報 9/25 号

	10 月	【量的調査】 調査票配付・回収 【質的調査】 グループインタビュー集計・分析
	11 月	【量的調査】 集計・分析
令和 2 年	1 月	<u>第 3 回障害者部会（調査結果の報告）</u> 第 3 回地域福祉推進協議会
	2 月	2 月議会（調査結果の報告）
	3 月	調査報告書納品